

区長と今福地域との意見交換会 申出内容と回答

《令和3年度1回目》

項目なし

《令和3年度2回目》

申出内容	回答
今福地域はペットボトル回収に取り組んでいるが、回収の回数が減になる。 チラシの個別配布で周知いただけると聞いたが、どうなったのか？	まちづくりセンターに確認し、1月中旬から環境局予算で「2月以降回数減」のチラシを各戸配布予定です。

《令和4年度1回目》

申出内容	回答
小学生を対象にプログラミング教室を実施しており、楽しんでもらっている。公立大学ができて学生が集まってくることに期待しており、区としても連携していくと思うが、地域と一緒に何かできないか。	・大阪公立大学との連携を進めていくための枠組み（協定）について大学側と調整中です。 ・今福地域での取り組みや意向についても大学側にお伝えしているところです。

区長と今福地域との意見交換会 申出内容と回答

申出内容	回答
大学から区に対して、学生の住居の確保など、要望は出ていないのか。市営住宅に学生がシェアリングで入ってもらえば、活性化するのではないかな。	経済戦略局（大学法人）より「学生の住居確保等の要望は特にないの、ご意見を参考にしつつ、今後の大学運営にかかる検討を進めていく」旨、回答を得ました。
大学の運営の中で、社会貢献をすることを入れてほしいと思う。いろんな学部があるが、社会貢献によって単位を取得できるようにしてほしい。	経済戦略局（大学法人）より「文部科学省の大学設置認可との関係上、当面カリキュラムの変更はできないものの、ご意見を参考にしつつ、今後の大学運営にかかる検討を進めていく」旨、回答を得ました。
学校選択制をなくすことはできないのか。そもそも学校選択制の総括がなされていないのではないかな。	制度の見直しにかかる全市調査を昨年度まで実施したことから、教育委員会でその総括が行われている段階です。
今福小の通学路で、墓の近くの歩道に水たまりができる。縁石を削って水が流れるようにしていたのを、近所の人で塞いでしまった。何とかしてほしい。	区役所が現地を確認し、建設局中浜工営所にご意見を伝えました。工営所からは、縁石を削って水溜まりの解消を行っていたことについて経過は不明ですが、雨天時に歩道の確認を行い、水溜まりの解消に向けた歩道舗装の改良を検討します。との回答を得ました。

城東区役所における子育て・教育の主な取り組み

0歳児家庭見守り支援事業

はじめての子育てを応援するために、令和2年度の城東区独自事業としてスタート。一人目のお子さんを養育されている家庭に、3か月児健診後、月に1回程度、訪問支援員がお訪ねし、育児に関する相談や身体測定などを行っています。

対象 3か月児健診終了後～
1歳6か月児健診まで
(一人目のお子さんを養育されている家庭)



区広報誌「ふれあい城東」令和2年12月号

プレパパ・ママへ わくわく育児体験イベントの開催

令和4年9月・12月、初めて出産を迎えるパパ・ママが、少しでも育児のイメージをつけることができるよう、人工知能を搭載した赤ちゃん型ロボット「リアルケアベビー」を使用した育児体験イベントを開催。

主な内容

- ・沐浴体験 ・着替え・抱っこ体験
- ・妊婦ジャケット ・絵本の紹介
- ・出産・育児用品の展示



保育・子育てコンシェルジュによるリモート相談窓口の開設

令和3年8月から、パソコンやスマートフォン（Microsoft Teams）を使って、自宅などから相談できるリモート相談窓口を開設。

専門の相談員による保育所等の入所手続きや、地域で利用できる子育て施設のことなど、保育・子育てに関する相談を受け付けています。



子育て応援アプリ「わくわく」

子育てに役立つ情報・さまざまな機能で「わくわく」楽しい子育てを応援しています。

ダウンロードはこちらから▶



城東区役所における子育て・教育の主な取り組み

城東区「いじめ撲滅宣言」の取り組み

いじめは、いじめを受ける子どもの人権が侵害され、尊厳が損なわれる重大な問題であり、いじめる側や観衆・傍観者を含め、子どもの健全な成長にとって看過できない悪影響を及ぼす深刻な問題です。

城東区役所では、令和2年8月、いじめ撲滅を宣言し、学校における校長マネジメントを発揮していくことで、保護者、地域の皆さまと連携しながら、何があっても「いじめ」は許さないという強い意志をもって、徹底して取り組むこととしています。

・令和3年3月より、区役所内に「いじめ・不登校連絡専用電話」を設置

・区役所庁舎北側に啓発推進幕を設置

城東区「いじめ撲滅宣言」

私たちは、何があっても「いじめ」は許さないという強い意志をもって、いじめ撲滅に向けて、徹底して取り組むことを宣言します。

- 1 私たちは、「いじめ」を絶対に許しません
- 2 「いじめ」には、迅速かつ適切に対応します
- 3 「いじめ」のない社会づくりをめざします

城東区内の市立小中学校においては、宣言を踏まえ、PDCAサイクルを徹底することで、「いじめ」を撲滅します。

令和2年8月1日
城東区長 大東 辰起

スクールサポートルーム（SSR）の整備

不登校支援の取り組みとして、登校はできるだけ教室に入ることができない、または集団での生活が難しい状況の生徒などが、学校内で過ごすための居場所として、「スクールサポートルーム」（通称SSR）を区内市立中学校2校に整備。

SSRを整備した学校

◆蒲生中学校
スクールサポートルーム内に、「学習支援ブース」、「個室ブース」、「多目的ブース」を配置し、目的や用途、気分に合わせて、それぞれのブースを利用できます。



◆董中学校
主に自主学習に利用できます。個別に仕切られた空間で、落ち着いて学習に取り組むことができます



スクールカウンセラーの充実

いじめや不登校の問題を解決する目的とし、配置校の相談者（子どもや保護者・教員）のニーズに対して適切な支援・助言を行うスクールカウンセラーを配置。城東区においては、令和2年度には1名、令和3年度は3名の増配置を行うなど、段階的な強化を図っています。

「城東区スクールロイヤー事業」の実施

学校での問題解決に向けた弁護士への相談システム「城東区スクールロイヤー事業」を令和5年度より実施予定。

